

平成24年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年3月15日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 サンオータス
 コード番号 7623 URL <http://www.sunautas.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年3月16日

(氏名) 北野 俊
 (氏名) 古川 晴男

TEL 045-473-1211

配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年4月期第3四半期の連結業績(平成23年5月1日～平成24年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年4月期第3四半期	25,540	8.2	33	△86.0	33	△84.6	△55	—
23年4月期第3四半期	23,605	3.2	236	98.5	215	87.8	96	75.6

(注) 包括利益 24年4月期第3四半期 △61百万円 (—%) 23年4月期第3四半期 96百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年4月期第3四半期	△17.51	—
23年4月期第3四半期	30.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年4月期第3四半期	13,867	3,453	24.9
23年4月期	13,570	3,546	26.1

(参考) 自己資本 24年4月期第3四半期 3,453百万円 23年4月期 3,546百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年4月期	—	0.00	—	10.00	10.00
24年4月期	—	0.00	—	—	—
24年4月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年4月期の連結業績予想(平成23年5月1日～平成24年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,800	9.9	100	△71.4	100	△66.7	20	△86.7	6.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ー社 (社名) 、 除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年4月期3Q	3,230,500 株	23年4月期	3,230,500 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年4月期3Q	49,370 株	23年4月期	49,370 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年4月期3Q	3,181,130 株	23年4月期3Q	3,181,162 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
	(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
	(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2.	サマリー情報（その他）に関する事項	4
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3.	四半期連結財務諸表	5
	(1) 四半期連結貸借対照表	5
	(2) 四半期連結損益計算書 及び四半期連結包括利益計算書	7
	四半期連結損益計算書	
	第3四半期連結累計期間	7
	四半期連結包括利益計算書	
	第3四半期連結累計期間	8
	(3) 継続企業の前提に関する注記	9
	(4) セグメント情報	9
	(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
	(6) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月に発生した東日本大震災の影響による停滞から持ち直し、企業の生産活動や個人消費は回復の兆しが顕著となりましたが、欧州の財政危機や歴史的な円高の進展に加えて原材料価格の高騰による企業部門の収益環境の悪化や、雇用・所得環境の改善が進まないことから需要の後退と消費マインドの低迷により、依然として景気の先行き不透明感が拭えない状況にありました。

当社グループの属する自動車関連業界では、震災等の影響による自動車生産台数の減少という一時的な要因が払拭され、生産台数は回復基調へと転じたものの、新車販売台数は対前年同期比で激減し、消費者のエコカー・省エネ志向の高まりとともに、輸入車販売も引続き苦戦を強いられました。

また、自動車燃料油販売業界もガソリンの全国需要が縮小する中、当社グループの営業地盤である神奈川県においても需要は低迷し、SS（サービスステーション）間の販売競争も激しく、厳しい経営環境下に置かれました。

このような状況のもと、当社グループでは「トータルカーサービス」を実現するため、グループ部門間のシナジー効果の最大限の発揮を意図した業務運営に取り組んだ結果、売上高は25,540百万円（前年同四半期比1,935百万円増加、8.2%増加）となりました。利益面では、ガソリン販売数量の減少及び価格競争による粗利益の減少に加え、新規出店等に伴う先行投資等に起因する販売費及び一般管理費の増加（前年同四半期比66百万円増加）等により、営業利益は33百万円（前年同四半期比203百万円減少）に止まり、営業外収支の改善により経常利益は33百万円（前年同四半期比182百万円減少）となり、固定資産の除却に伴う特別損失の計上及び法人税等を負担した後の四半期純損失は55百万円（前年同四半期は96百万円の四半期純利益）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は次のとおりであります。なお、セグメント間の取引については、相殺消去前の数値によっております。

ガソリンを中心とした燃料油やカーケア商品の販売事業及び車検・整備事業を運営するライフエネルギー事業部門の売上は11,345百万円（前年同四半期比1,246百万円増加）、セグメント損失は70百万円（前年同四半期は32百万円のセグメント利益）となりました。

当部門の主力商品であるSSにおけるガソリン販売は、東日本大震災の影響と消費者の節約志向の高まりによる需要の後退により販売数量が大幅に減少し、価格面でもSS間の競争は熾烈で、原油価格の高止まりによる仕入価格の上昇分をタイムリーに販売価格に反映させることが困難な状況が続きました。直販部門における大口需要家向け軽油・灯油販売数量の増加と、原油価格が高値圏で推移したことによる燃料油販売単価の上昇及び環境対策として取り組んでいる自動車エンジン洗浄機器類の販売数量の増加等により売上高は前年同四半期を上回りましたが、十分な利鞘が確保できなかったこと並びにSSにおけるガソリン販売数量の減少がセグメント損失の主な要因であります。

レンタカー事業、保険代理店及び中古車売買・斡旋事業を運営するカーライフサポート事業部門の売上は1,061百万円（前年同四半期比48百万円増加）、セグメント利益は9百万円（前年同四半期比48百万円減少）となりました。

当事業の中核であるレンタカー部門においては、法人契約の推進と個人顧客に対する短時間利用等、多様なメニューの提供により稼働率の向上に努め、新規出店効果も加わって売上高は前年同四半期を上回りました。利益については、新規出店に伴う設備投資及び保有車両の増加や、省エネ及び環境対策への取組みの一環として、EV（電気自動車）やハイブリッド車等のエコカー導入を積極的に推進したこ

と及びユーザーの低価格志向への対応等に伴い原価率が上昇しセグメント利益の縮小を余儀なくされましたが、将来につながる設備投資は進捗しました。

BMW車、フォード車、ジャガー車及びプジョー車の4ブランドの輸入車正規ディーラーを運営するカービジネス事業部門の売上は12,973百万円（前年同四半期比681百万円増加）、セグメント利益は103百万円（前年同四半期比80百万円減少）となりました。

平成23年（1月から12月までの暦年）における国内の新車（登録車）販売台数は268万台と前年同期実績（322万台）を大きく下回りましたが、輸入車正規ディーラー業務を運営する当社グループでは、各ブランドのニューモデルを対象とした積極的な販売促進活動の結果、新車販売台数及び新車売上高は前年同四半期を上回り、価格競争の影響を最小限にとどめるとともに中古車販売及び車検・整備の取扱いを強化したことによりセグメント利益を確保することができました。

なお、平成23年12月より横浜市内において新たなブランドであるプジョー車の正規ディーラー業務を開始しておりますが、当四半期業績への効果は限定的でありました。

ビルメンテナンス事業及び不動産賃貸事業を行なう不動産関連事業部門の売上は341百万円（前年同四半期比14百万円減少）、セグメント利益は78百万円（前年同四半期比8百万円減少）となりました。

不動産関連事業部門は、安定した顧客を確保しており、引続き堅調に推移しました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ296百万円増加して13,867百万円となりました。これは、現金及び預金が55百万円、受取手形及び売掛金が438百万円とそれぞれ減少し、商品及び製品が546百万円増加したため、流動資産合計が150百万円増加したこと及び営業店舗新設等に伴い固定資産合計が145百万円増加したことによるものであります。

一方、支払手形及び買掛金が45百万円減少しましたが、短期借入金が406百万円、長期借入金（1年以内の返済予定を含む。）が68百万円とそれぞれ増加したことにより、負債合計が389百万円増加して10,413百万円となり、純資産合計は当第3四半期連結累計期間の業績等を反映し、92百万円減少して3,453百万円となりました。

その結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は1.2ポイント低下して24.9%となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、国内においては復興需要の増加が見込まれるものの、新興国経済の減速懸念及び欧州財政・金融不安や円高の長期化など、景気の下振れリスクが高まる現下の経済情勢から各事業とも引続き厳しい状況下に置かれるものと予想されます。加えて、中東を巡る地政学リスクの高まりが、原油価格及びこれに連動する燃料油価格のさらなる上昇を招き、一層の需要後退をもたらすという懸念材料が存在し、売上高、利益に対し不確定な要因を含んでおります。

当第3四半期連結累計期間の業績等を踏まえ、通期業績予想の見直しを実施した結果、平成23年6月20日に公表いたしました平成24年4月期の通期業績予想を修正いたします。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,292,919	1,237,232
受取手形及び売掛金	2,212,936	1,774,895
商品及び製品	2,050,137	2,596,897
原材料及び貯蔵品	20,452	26,466
繰延税金資産	57,461	31,425
その他	601,636	696,606
貸倒引当金	△55,813	△32,951
流動資産合計	6,179,731	6,330,572
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,211,373	1,265,777
土地	3,890,088	3,890,088
リース資産（純額）	695,226	727,314
その他（純額）	373,842	450,410
有形固定資産合計	6,170,531	6,333,589
無形固定資産		
のれん	47,022	31,278
その他	24,730	26,117
無形固定資産合計	71,752	57,395
投資その他の資産		
差入保証金	744,937	744,044
繰延税金資産	31,256	30,738
その他	382,201	380,727
貸倒引当金	△9,489	△9,410
投資その他の資産合計	1,148,905	1,146,100
固定資産合計	7,391,190	7,537,085
資産合計	13,570,921	13,867,657

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,793,267	1,747,966
短期借入金	5,076,226	5,483,082
1年内返済予定の長期借入金	283,872	293,864
1年内償還予定の社債	30,000	30,000
リース債務	317,565	361,800
未払法人税等	80,083	29,960
賞与引当金	117,020	51,790
その他	767,088	813,816
流動負債合計	8,465,122	8,812,280
固定負債		
社債	120,000	90,000
長期借入金	558,350	616,632
リース債務	422,041	410,977
繰延税金負債	16,948	12,157
退職給付引当金	330,935	354,559
役員退職慰労引当金	88,347	95,119
その他	22,603	22,099
固定負債合計	1,559,226	1,601,544
負債合計	10,024,349	10,413,824
純資産の部		
株主資本		
資本金	411,250	411,250
資本剰余金	462,500	462,500
利益剰余金	2,688,627	2,601,117
自己株式	△27,174	△27,174
株主資本合計	3,535,202	3,447,693
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,369	5,559
その他の包括利益累計額合計	11,369	5,559
新株予約権	—	580
純資産合計	3,546,572	3,453,833
負債純資産合計	13,570,921	13,867,657

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年5月1日 至平成23年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成24年1月31日)
売上高	23,605,622	25,540,896
売上原価	19,247,013	21,319,334
売上総利益	4,358,608	4,221,562
販売費及び一般管理費	4,121,612	4,188,288
営業利益	236,996	33,273
営業外収益		
受取利息	2,750	2,232
受取配当金	1,576	1,687
受取手数料	28,179	43,882
その他	20,948	21,166
営業外収益合計	53,454	68,969
営業外費用		
支払利息	69,060	65,052
その他	6,016	3,981
営業外費用合計	75,077	69,033
経常利益	215,373	33,209
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2,250	—
固定資産売却益	—	1,049
特別利益合計	2,250	1,049
特別損失		
固定資産除却損	7,375	23,990
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	33,549	—
その他	5,780	25
特別損失合計	46,705	24,015
税金等調整前四半期純利益	170,918	10,243
法人税、住民税及び事業税	48,255	40,005
法人税等調整額	26,045	25,936
法人税等合計	74,301	65,941
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	96,617	△55,697
四半期純利益又は四半期純損失(△)	96,617	△55,697

【四半期連結包括利益計算書】
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年5月1日 至平成23年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成24年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	96,617	△55,697
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	137	△5,810
その他の包括利益合計	137	△5,810
四半期包括利益	96,755	△61,508
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	96,755	△61,508
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年5月1日 至平成23年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ライフエネ ルギー事業	カーライフ サポート事 業	カービジネ ス事業	不動産関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,999,381	988,460	12,286,764	331,016	23,605,622	—	23,605,622
セグメント間の内部売上高 又は振替高	100,041	25,214	5,411	25,741	156,409	△156,409	—
計	10,099,422	1,013,674	12,292,176	356,757	23,762,031	△156,409	23,605,622
セグメント利益	32,284	57,106	184,400	87,376	361,168	△124,171	236,996

(注) 1. セグメント利益の調整額△124,171千円には、セグメント間取引消去95,351千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△219,523千円が含まれております。なお、全社費用は管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年5月1日 至平成24年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ライフエネ ルギー事業	カーライフ サポート事 業	カービジネ ス事業	不動産関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,236,991	1,030,457	12,961,267	312,179	25,540,896	—	25,540,896
セグメント間の内部売上高 又は振替高	108,453	31,497	12,630	29,716	182,298	△182,298	—
計	11,345,445	1,061,955	12,973,898	341,896	25,723,195	△182,298	25,540,896
セグメント利益又は損失(△)	△70,941	9,069	103,887	78,940	120,956	△87,683	33,273

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△87,683千円には、セグメント間取引消去93,024千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△180,707千円が含まれております。なお、全社費用は管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。